

## 善法寺農会文書概要

- 1: 文書群番号 100006
- 2: 文書群名 善法寺農会文書
- 3: 出所 善法寺農会
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 兵庫県川辺郡善法寺村／川辺郡小田村善法寺／尼崎市善法寺／尼崎市善法寺町ほか
- 6: 行政区分 兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼崎市
- 7: 歴史 善法寺は小田地区の大字で、市域北東部に位置する。明治22年（1889）以降は小田村、昭和11年（1936）以降は尼崎市の大字となった。昭和56年に住居表示で善法寺町となり、一部が弥生ヶ丘町となった。氏神は白井神社、寺院は浄土真宗本願寺派円融寺。水利は、西明寺井組に属していたが、昭和初期に同組から離れ、昭和30年に大井組に加入した。名神高速道路や山陽新幹線線路設置工事により、農地の売却や宅地化が進んだ地域である。
- 8: 伝来 平成12年（2000）7月に山本一衛氏より借用し、同18年1～3月、11月～同19年1月に整理・目録作成を完了し、同21年5月に寄託手続きを完了した。
- 9: 史料入手先 山本一衛氏（善法寺地区農会長）
- 10: 点数 231点（目録件数166件）
- 11: 年代 明治41年（1908）～昭和55年（1980）
- 12: 構造と内容 半分は明治40年代～昭和戦前期までの善法寺農会をはじめとする村落運営に関するものであり、近代における共同体内部の構造の一端をうかがい知る史料も含まれている。残り半数は山陽新幹線（新大阪-岡山間）線路建設に伴う用地買収や水路の護岸工事ほか、戦後の水利組合、その他共有地に関する史料等で構成されている。
- 13: 関連史料 寺田繁一氏文書(1)、太田善夫氏文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 近藤浩二